平　成　２３　年　度　　教　育　研　究　業　績　書

氏名　　栗田 美由紀

最終学歴	奈良大学大学院文学研究科博士課程前期修了	
取得学位	文学修士	
所属学会	美術史学会・文化財保存修復学会・日本文化財科学会	
専門分野	日本美術史（仏教美術史、文様史、工芸史）、保存科学	
研究課題	古代の装飾文様および意匠、工芸品の材質と技法、博物館資料の保存環境	
授業科目	学部担当科目	・工芸史（前期） ・文化財博物館学特殊講義（後期） ・美術史実習（通年） ・ ・ ・
	大学院修士課程 担当科目 （博士前期課程含）	・ ・ ・ ・
	大学院博士後期課程 担当科目	・ ・ ・ ・
	通信教育部担当科目	・卒業論文 ・ ・ ・
【研究上の特記事項】	・科学研究費平成22年度基盤研究Ａ（海外学術調査）研究分担者 研究課題「レバノン国所在壁画地下墓の保存修復研究（II）」 ・甚目寺蔵愛染明王像の調査	
【教育上の特記事項】	・奈良大学博物館 館園実習（前期、後期　各5日間） ・平成23年度文化財学科海外研修旅行引率 ・第1回ミュージアムエデュケータ研修（文化庁）修了	
【社会的活動】	大阪北生協文化講座講師（２回） 文化財保存修復学会第33回大会実行委員	
【学内活動】 （学内職歴を含む）	紀要編集委員・ホームページ委員・博物館委員・ネットワーク委員・セクシャルハラスメント防止委員・奈良大学博物館学芸員	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概　　要
（著書） ① ② ③ ④ ⑤				
（学術論文） ①「正倉院宝物花樹獅子人物文綾の意匠について」 ② ③ ④ ⑤	単著	2011.9	『佛教藝術』318号	pp.75-103。正倉院宝物の花樹獅子人物文綾の意匠の成立過程および意匠が包含するイメージについて論じた。
（学会発表） ①「甚目寺愛染明王像及び胎内納入品「五指量愛染明王」についての調査報告-五指量愛染明王像の彩色材料-」 ②「甚目寺蔵愛染明王像の保存修復計画　修理方針と実施計画について」 ③ ④ ⑤	共同（代表発表者） 共同	2011.6 2011.6	文化財保存修復学会第33回全国大会 文化財保存修復学会第33回全国大会	
（その他） ①「甚目寺愛染明王像及び胎内納入品「五指量愛染明王」についての調査報告-五指量愛染明王像の彩色材料-」 ②「甚目寺蔵愛染明王像の保存修復計画　修理方針と実施計画について」 ③『奈良大学博物館リーフレット１　阿修羅像のつくり方』 ④ ⑤	共著 共著 単著	2011.6 2011.6 2010.5	『文化財保存修復学会第33回全国大会 in 奈良 研究発表要旨集』 『文化財保存修復学会第33回全国大会 in 奈良 研究発表要旨集』 奈良大学博物館	